

令和 3 年度のジェネリック医薬品使用促進事業の 実施報告について

令和 4 年 9 月 薬務課監視係

- 令和3年度は、以下の3つの事業を実施した。
 1. 高齢者向け啓発資材の作成
 2. 子ども及びその保護者への啓発事業
 3. レセプト分析

- それぞれの事業について、簡単に結果報告させていただくもの。

1. 高齢者向け啓発資材の作成

2. 子ども及びその保護者への啓発事業

3. レセプト分析

令和3年度高齢者向け啓発資材の作成について

○事業概要

県政モニターアンケートの結果からも、ジェネリック医薬品の認知度が成熟していることが見て取れ、この段階において更なるジェネリック医薬品使用促進を実施するには、一人当たり医療費が高くジェネリック医薬品使用割合の低い高齢者に対して、啓発を実施する必要があった。

このため、平成28年度に作成した啓発資材を見直し、啓発効果のより高いリーフレットを制作した。

○作成方法

公募型プロポーザル方式（※）で実施

（※）デザイン等の企画・提案を競争させ、審査の上で目的に最も適した案を提示した業者と契約する方法

審査は、福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会委員及び福岡県保健医療介護部薬務課職員にて実施した。

啓発資材の紙面

○ポスター

未来のための やさしい節約

ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品を選ぶことは社会貢献でもある、ということをご存じでしょうか。服用しているお薬をジェネリック医薬品に替えると、窓口で支払う「自己負担」を減らせるだけでなく、「税金」や「保険料」でまかなわれているこの国の医療費を節約することにもなるのです。

急速な高齢化に伴い、増え続ける日本の医療費。このままでは、現代の優れた医療保険制度を次の世代に継承していくことが困難な状況です。子どもたちが安心して暮らせる未来を残すこと、それは、私たちに課せられた責任でもあります。

ジェネリック医薬品という選択は、子どもたちの未来を想う「やさしい節約」なのです。



ジェネリック医薬品使用割合(%)

年齢層	ジェネリック医薬品使用割合(%)	内服薬の処方量1枚当たり薬剤料(円)
0-7歳未満	82	7,000
7.5-9歳未満	78	6,500
9.5-12歳未満	81	7,500
12.5-15歳未満	79	7,000
15.5-19歳未満	80	7,500

※厚生労働省「最近の調剤医療費（集計処理分）の動向 令和2年度3月号」のデータより作成

約8割の方がジェネリック医薬品をご利用されていますが、高齢になると処方箋1枚当たりの薬剤料が高くなる一方、ジェネリック医薬品の使用割合が低い傾向にあります。

ジェネリック医薬品に替えることで、一人あたりの調剤医療費を節約することができます。

ジェネリック医薬品とは
先に開発されたお薬（先発医薬品）と同じ有効成分を同じ量使用したお薬で、先発医薬品よりもお薬代が安くなっています。厚生労働省が有効性や安全性を認めたお薬であり、安心して使うことができますため、厚生労働省も使用を推奨しています。

○まずは、医師・薬剤師にご相談ください。

福岡県／公益社団法人 福岡県薬剤師会

○リーフレット

(表)

お問い合わせ

お薬の使用法や取り扱い方などのご質問がある場合は、こちらに電話ください。

公益社団法人福岡県薬剤師会 薬事情報センター
(くすりなんでもテレホン)

☎092-271-1585

(政府広報オンライン)

政府広報オンライン ジェネリック

<https://www.gov-online.go.jp/article/201309/4.html> 政府広報

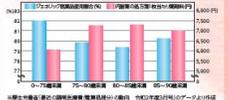
ジェネリック医薬品について
わかりやすくご説明しています。

ジェネリック医薬品を選ぶことは社会貢献でもある、ということをご存じでしょうか。服用しているお薬をジェネリック医薬品に替えると、窓口で支払う「自己負担」を減らせるだけでなく、「税金」や「保険料」でまかなわれているこの国の医療費を節約することにもなるのです。

子どもたちが安心して暮らせる未来を残すこと、それは、私たちに課せられた責任でもあります。

ジェネリック医薬品という選択は、子どもたちの未来を想う「やさしい節約」なのです。

約8割の方がジェネリック医薬品をご利用されていますが、高齢になると処方箋1枚当たりの薬剤料が高くなる一方、ジェネリック医薬品の使用割合が低い傾向にあります。



○まずは、医師・薬剤師にご相談ください。

未来のための やさしい節約

ジェネリック医薬品



福岡県

(裏)

★福岡県では、ジェネリック医薬品の普及を推進しています。……………このリーフレット発行元：福岡県薬剤師会 薬事情報センター ☎092-643-3285

安いだけではありません！

ジェネリック医薬品は、未来を想う「やさしい節約」なのです。

1 ジェネリック医薬品とは？

ジェネリック医薬品は、先に開発された薬（先発医薬品）の特許が切れた後に発売される医薬品で、先発医薬品と同じ有効成分・同じ効き目として、国が承認したものです。



ここがポイント
開発コストを抑えられるので、薬代が安くなります。

3 どんなメリットがあるの？

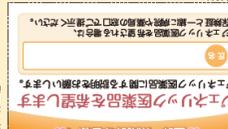
- 価格が先発医薬品と比べて安いため、支払うお薬代が安くなります。
- 味やにおい、大きさを改良して飲みやすしたり、容積を改良して使いやすしたりするなど、独自の工夫をした製品もあります。

飲みやすく改良



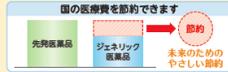
5 希望する時はどうすればいいの？

- ジェネリック医薬品を希望される際は、まずは医師・薬剤師にご相談ください。
- 希望を医師・薬剤師にお伝えする際は、下の「ジェネリック医薬品希望カード」を病院や薬局の窓口で提示するなど、ご活用ください。



2 効果や品質は大丈夫？

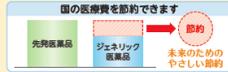
ジェネリック医薬品の有効性、安全性及び品質については、国が厳格な審査を行い、基準を満たしたものが承認されています。



4 「やさしい節約」とは？

お薬代は患者さんの自己負担だけでなく、税金や保険料でまかなわれているため、ジェネリック医薬品を選ぶことで、この国の医療費を節約できます。現代の優れた医療保険制度を次の世代に引き継ぐためには、増え続けているこの国の医療費を節約していくことが大切です。また、節約した医療費は、新薬の開発などに有効活用することもできます。

国の医療費を節約できます



B 2 サイズ及び B 3 サイズを作成

啓発資材の配布先

○リーフレット

(1) 後期高齢者医療保険の被保険者

後期高齢者医療広域連合が送付する差額通知と共に、月あたり5,000部を目途に配布

(2) 市町村役所窓口 . . . 60市町村 (計60,490部)

市町村国民健康保険担当課より、窓口等にて配布

(3) 福岡県医師会会員医療機関 (病院・診療所) . . . 4,544医療機関 (計22,720部)

(4) 福岡県薬剤師会会員薬局、各地区薬剤師会 . . . 2,427薬局 (計63,550部)

薬局にて、処方箋受付時等に配布

○ポスター

(1) 福岡県医師会会員医療機関 (病院・診療所) . . . 4,544医療機関 (計9,088部)

待合室等に掲示

(2) 福岡県薬剤師会会員薬局、各地区薬剤師会 . . . 2,427薬局 (計5,760部)

薬局に掲示

(3) 行政機関

福岡県庁薬務課等にて掲示

1. 高齢者向け啓発資材の作成
2. 子ども及びその保護者への啓発事業
3. レセプト分析

2. 子ども及びその保護者への啓発事業

- 子どもの世代で普及率が低いことが指摘されていることから、普及率の底上げを行うべく、令和2年度においては北九州市・福岡市の15歳未満を対象として、資材送付による啓発を実施した。
- 令和3年度は県全域を対象を実施した。

【啓発の概要】

GE使用を促進する啓発用パンフレット及び保険証や「子ども医療証」※に貼付可能なGE希望シールを作成し、以下の対象に配布。

※ 子ども医療費支給制度を利用する際に医療機関等で提示するもの。

○対象

下記のいずれにも当てはまる者のいる国民健康保険の被保険者

- ・ 県内の15歳未満
- ・ GE使用による差額が100円以上
(ただし、昨年送付した世帯に対しては送付しない。)

※ 対象者の抽出においては、福岡県国民健康保険団体連合会に御協力いただいた。



対象者について

○各市町村へ、データ提供の承諾依頼 → 49市町村より承諾取得

※ 11市町村においては、個人情報提供に係る委員会への諮問の時期が合わない等の理由により、承諾を得られなかった。

○福岡県国民健康保険団体連合会及び各市町村の協力の下、下記条件にて抽出を行い、6,907人が抽出された。

○対象

下記のいずれにも当てはまる者のいる国民健康保険の被保険者世帯

- ・ 県内の15歳未満
- ・ GE使用による差額が100円以上（令和2年8月から令和3年7月調剤分）

○北九州市及び福岡市において重複して対象となっている者の数を求めたところ、結果は以下のとおりであり、一定の効果が得られているものと推測される。

	令和2年度 対象者数		令和3年度 対象者数	重複対象者数
北九州市	336	133人減 →	203	51
福岡市	772	253人減 →	519	102

アンケートについて

- 効果検証に資する情報収集のため、啓発資材には、保護者を対象としたWEBアンケート協力依頼（QRコード）を同封。
- アンケートには、292件の回答あり。
- アンケートの内容については、以下のとおり。

お子様が使用する医薬品について教えてください。

Q1 現在、ジェネリック医薬品を使用（希望）していますか？その理由もお答えください（複数回答可）

1. 使用している

- ・社会貢献になるから
- ・自己負担額が安くなるから
- ・使いやすい製品があるから
- ・医師・薬剤師に勧められたから
- ・その他（具体的に：)

2. 使用していない

- ・子ども医療証を活用しており、自己負担額に変わりがないから
- ・品質に不安があるから
- ・医師・薬剤師から勧められないから
- ・効かないから（効かないイメージがあるから）
- ・病院・薬局で取り扱いがないといわれたから
- ・知らない、興味がないから
- ・アレルギーが発現するかもしれないから
- ・その他（具体的に：)

Q2 今回送付したパンフレットやシールをご覧になって、今後、ジェネリック医薬品を使用しようと思いましたが、よろしければ理由もお答えください。

1. 使用するつもりだ

2. 使用しないつもりだ

（理由：)

アンケートについて（続き）

ご自身（保護者）が使用する医薬品について教えてください。

Q3 現在、ジェネリック医薬品を使用（希望）していますか？その理由もお答えください（複数回答可）

1. 使用している

- ・社会貢献になるから
- ・使いやすい製品があるから
- ・その他（具体的に：
・自己負担額が安くなるから
・医師・薬剤師に勧められたから

2. 使用していない

- ・自己負担額に変わりがないから
- ・医師・薬剤師から勧められないから
- ・病院・薬局で取り扱いがないといわれたから
- ・アレルギーが発現するかもしれないから
- ・その他（具体的に：
・品質に不安があるから
・効かないから（効かないイメージがあるから）
・知らない、興味がないから

Q4 今回送付したパンフレットやシールをご覧になって、今後、ジェネリック医薬品を使用しようと思いましたが、よろしければ理由もお答えください。

1. 使用するつもりだ

2. 使用しないつもりだ

（理由：
）

アンケートについて (続き)

ジェネリック医薬品の使用とアンケート調査へのご協力をお願い

保護者の皆様

国や福岡県では、年々増大する医療費の削減を目的にジェネリック医薬品の普及に取り組んでいます。これまでの分析の結果では、0歳～15歳におけるジェネリック医薬品の使用が進んでいないことが明らかになっています。

子ども医療制度や国民皆保険制度を未来につなげるためには、「税金」や「保険料」でまかなわれている医療費を節約することが重要であり、皆様ひとりひとりがジェネリック医薬品を使用することが「確かな貢献」となります。

本県では、ジェネリック医薬品の使用促進について、保護者の方にご理解いただくためのリーフレットを作成しました。また、医師や薬剤師にジェネリック医薬品希望を伝える際にお使いいただける「ジェネリック医薬品希望シール」を同封していますので、子ども医療証やお薬手帳、保険証などに貼ってご活用ください。

併せて、お子様、ならびに保護者の皆様のジェネリック医薬品の使用に関するアンケートページのQRコードを以下に記載しております。ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、本アンケート調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

【アンケート調査について】



下記 URL にアクセスするか、左記の QR コードを読み取り、
4月30日(土)までに web 画面上でアンケートに回答ください。

<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/XQT5UwoS>

(所要時間は2分程度です。)

【本アンケートのお問い合わせ先】

福岡県保健医療介護部業務課監視係 TEL.092-643-3285

QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です



ジェネリック医薬品に関するアンケート調査

アクセスいただき、ありがとうございます。
お子様、ならびに保護者の皆様の後発医薬品の使用状況を把握するため、本アンケート調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

ブラウザの「戻る」「更新」ボタンを使用すると正しく処理できませんので、使用しないでください。

必須印は必須項目です。必ずご記入ください。

60分間隔がない(ページ移動がない)場合、タイムアウトとなり入力内容が破棄されます。ご記入に時間がかかる場合は一時保存をご利用ください。

お子様が使用する医薬品について教えてください。

[1] Q 1 必須

現在、ジェネリック医薬品を使用(希望)していますか?

- 使用している
- 使用していない

[5] Q 3 必須

今回送付したパンフレットやシールをご覧になって、今後、ジェネリック医薬品を使用しようと思いましたが、

- 使用するつもりだ
- 使用しないつもりだ

[6] Q 3-2

Q 3で、そのように答えた理由を教えてください。
(200文字まで)

続いて、ご自身(保護者様)が使用する医薬品について教えてください。

[7] Q 4 必須

現在、ジェネリック医薬品を使用(希望)していますか?

- 使用している
- 使用していない

[11] Q 6 必須

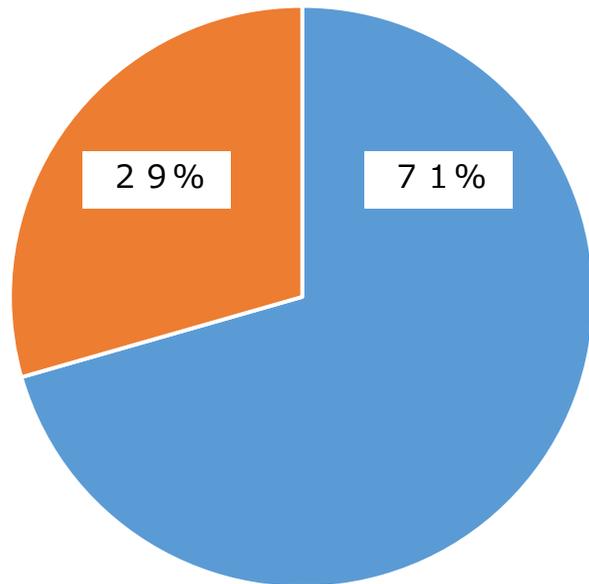
今回送付したパンフレットやシールをご覧になって、今後、ジェネリック医薬品を使用しようと思いましたが、

- 使用するつもりだ
- 使用しないつもりだ

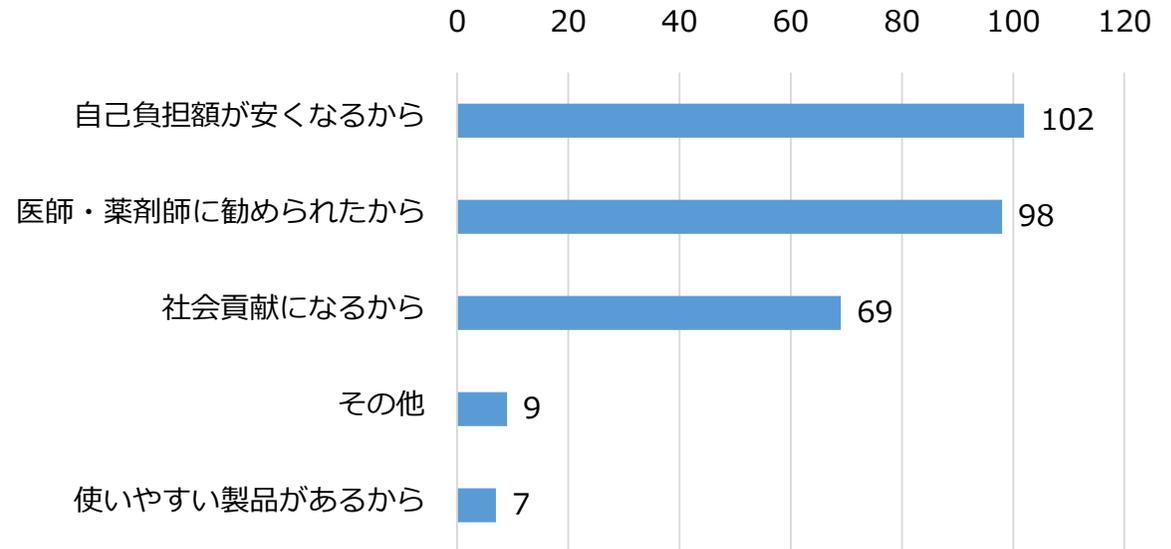
アンケート結果について

Q1 お子様が使用する薬について、ジェネリック医薬品を使用（希望）していますか？

使用（希望）している理由（複数選択可）



■ 使用している ■ 使用していない



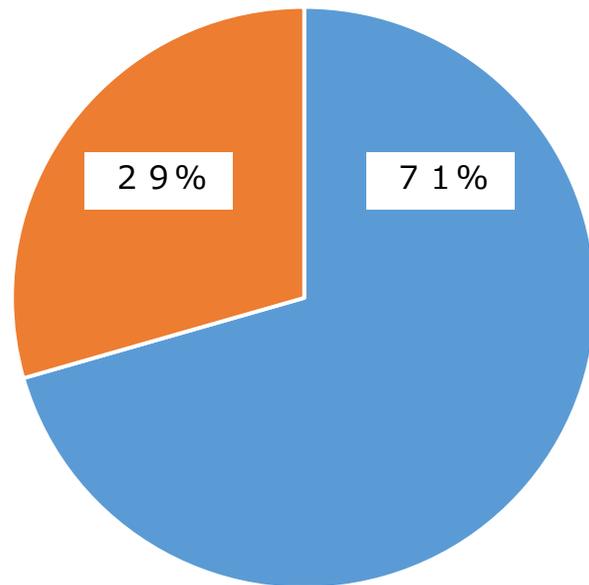
【その他理由（抜粋）】

- ・薬の効能は変わらず会社名が違うだけだと聞きました。
- ・ジェネリックしかないと言われた。
- ・その薬を処方されているから。
- ・実親さんからの希望。
- ・特に気にしてないから。
- ・先発品が無いとの事で。
- ・どちらでも良いのでお任せしている。

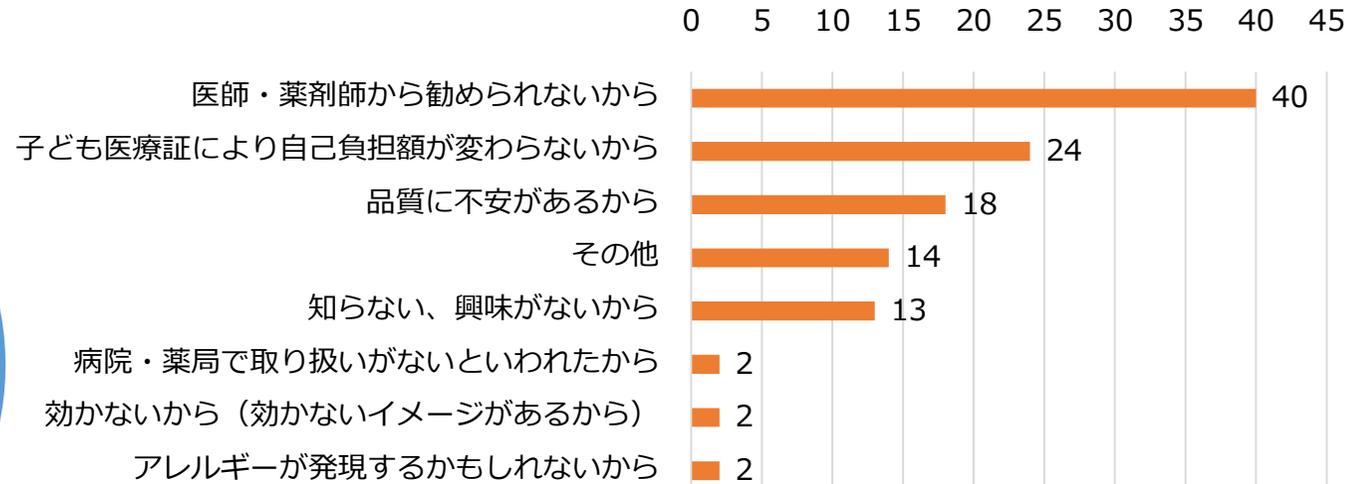
アンケート結果について

Q1 お子様が使用する薬について、ジェネリック医薬品を使用（希望）していますか？

使用（希望）していない理由（複数選択可）



■ 使用している ■ 使用していない

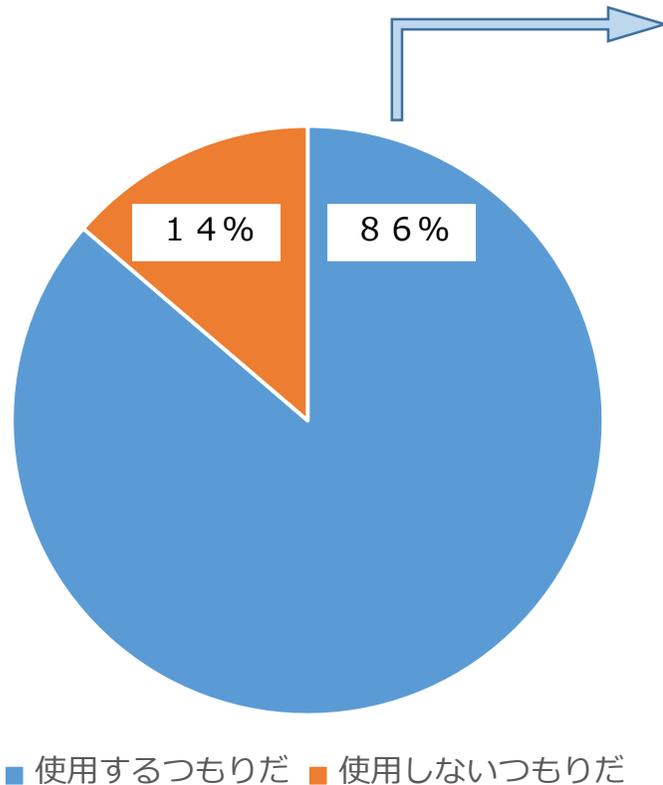


【その他理由（抜粋）】

- ・初めて飲む薬なので、様子を見て今後ジェネリック移行を主治医と相談する。
- ・薬剤師の知り合いに、子供のジェネリックはやめた方がいいと言われたから。
- ・病院から、処方された薬を、そのままつかっているから。
- ・先発薬が安心感がある。
- ・特に湿布は、ジェネリックを使用後に皮膚が赤くなって、痒みもあり使用を辞めました。
- ・どの薬がジェネリック薬品なのかがわかりません。あまり病院にはかかりませんが、先生から勧められれば、ジェネリック薬品でもかまいません。
- ・特に選ぶ機会が無かったから。
- ・病院で薬を貰うことがほぼ無く、行ったとしても先生が処方されるのがどこの薬なのか分からない。
- ・同じ成分と理解はしていても、子供にはなんとなくジェネリックを使いたくなかった。
- ・使用中の薬にジェネリックがない。
- ・気にしてなかった。

アンケート結果について

Q2 今回送付したパンフレットやシールをご覧になって、今後、ジェネリック医薬品を使用しようと思いましたが。

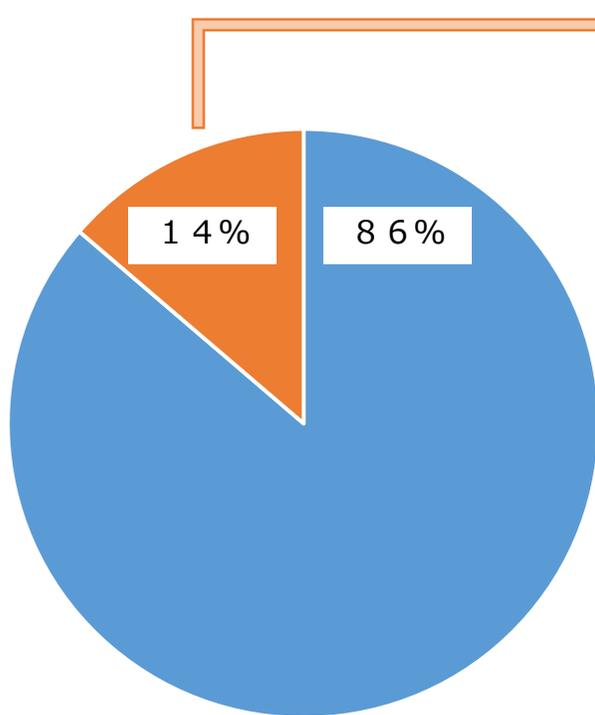


【今後使用する理由（抜粋）】

- ・先発品と変わらないのに安いから。
- ・自己負担額が減る事、ジェネリック品を使用する事で医療費を節約し、子ども達や国民の医療制度の貢献に繋がると知ったから。
- ・有効性や安全性が変わらないから。
- ・今まで使ってきたから。
- ・今まで興味がなく、理解していなかった。今回のパンフレットで理解できた。
- ・国が承認しているから。
- ・何も聞かなくてもジェネリック医薬品が当たり前にあるから。処方されるので。
- ・薬剤師さんにも勧められて、興味もあったから。
- ・不便を感じないから。
- ・子どもの医療費負担の制度も今後も続けてほしいため。

アンケート結果について

Q2 今回送付したパンフレットやシールをご覧になって、今後、ジェネリック医薬品を使用しようと思いましたが。



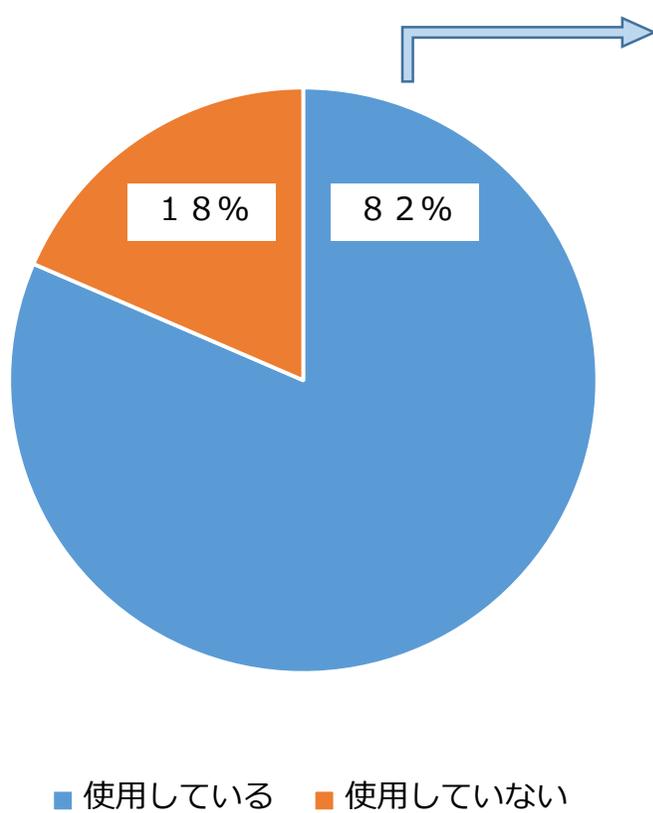
■ 使用するつもりだ ■ 使用しないつもりだ

【今後使用しない理由（抜粋）】

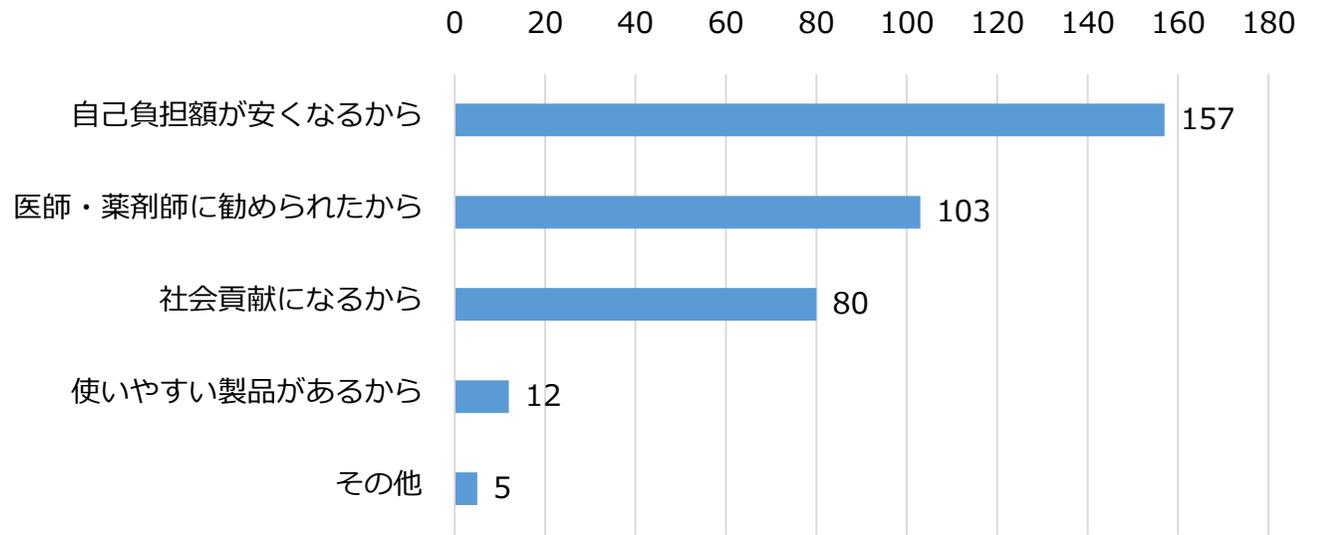
- ・ 興味が無いから。
- ・ 信用していいか不安だから。
- ・ 病院で処方された薬がジェネリックではないから。
- ・ 変更したからといって大きなメリットが感じられないから。
- ・ 自己負担額の時期になるまではジェネリックにするつもりはないから。
- ・ アレルギー反応や皮膚の赤み痒みが出ると嫌だから。
- ・ 安心安全なものを使わせたいから。
- ・ 薬代を支払っていないので、あまり気にしていないで、医師が処方した薬を使っている。医師がジェネリックを処方すれば使う。
- ・ ジェネリック製造時に別の薬品が混ざったことが原因の死亡事故をきっかけに、品質管理がされていないことを知ったから、子どもにはあげたくない。

アンケート結果について

Q3 ご自身（保護者）が使用する薬について、ジェネリック医薬品を使用（希望）していますか？



使用（希望）している理由（複数選択可）

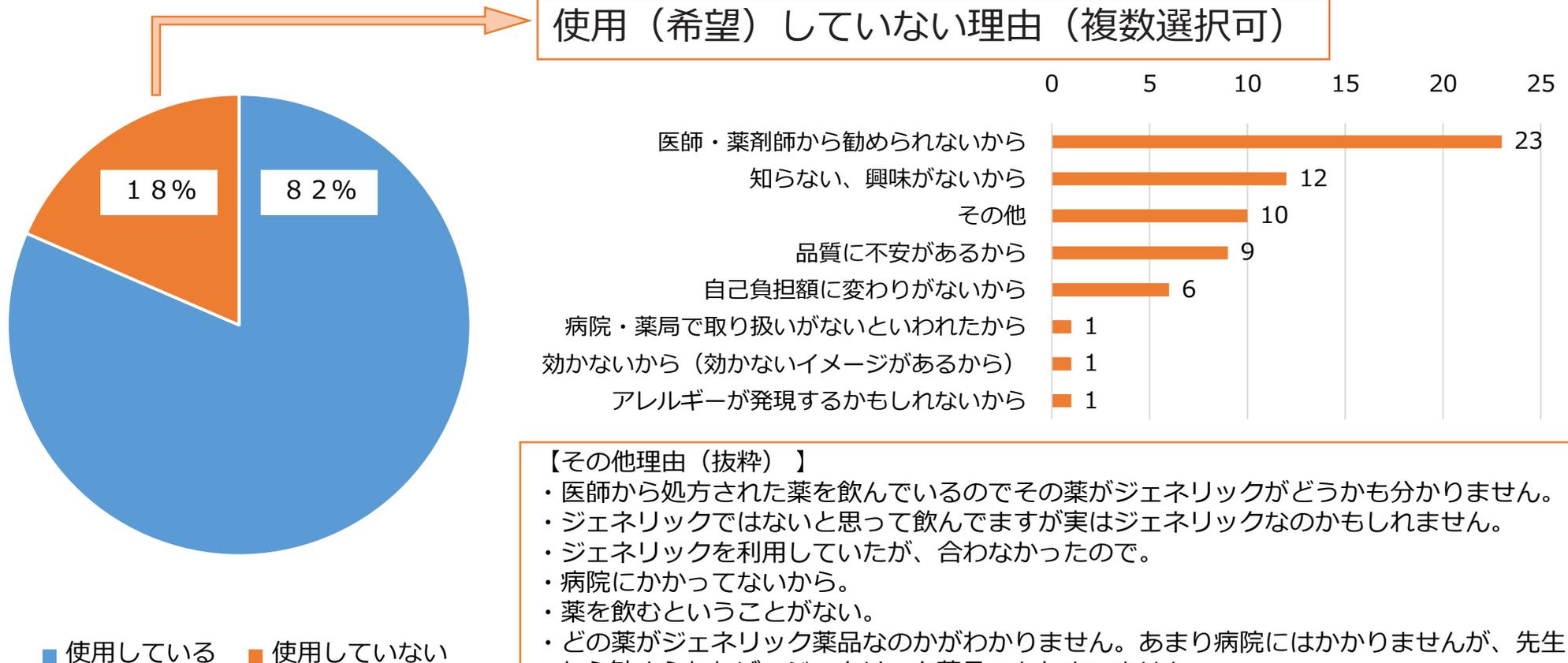


【その他理由（抜粋）】

- ・正規の薬は置いてなくジェネリックを置いていたと言われた。
- ・希望を聞かれず処方されるから。
- ・そんなに先発、ジェネリックと気になってないから。
- ・成分等が同等の物ならば、特に拘らないから。
- ・職場での処方が多いのでお任せしている。

アンケート結果について

Q3 ご自身（保護者）が使用する薬について、ジェネリック医薬品を使用（希望）していますか？

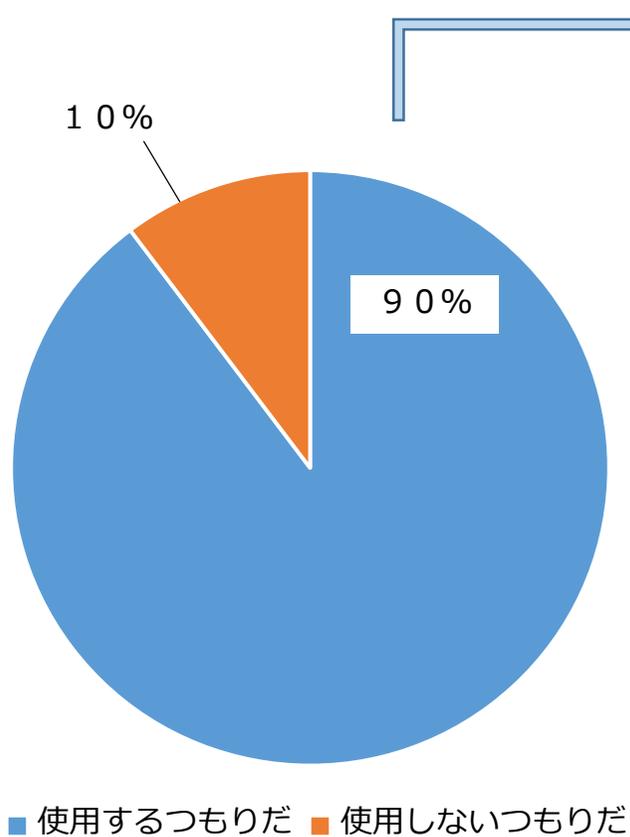


【その他理由（抜粋）】

- ・ 医師から処方された薬を飲んでいるのでその薬がジェネリックがどうかも分かりません。
- ・ ジェネリックではないと思って飲んでますが実はジェネリックなのかもしれません。
- ・ ジェネリックを利用していたが、合わなかった。
- ・ 病院にかかってないから。
- ・ 薬を飲むということがない。
- ・ どの薬がジェネリック薬品なのかがわかりません。あまり病院にはかかりませんが、先生から勧められれば、ジェネリック薬品でもかまいません。
- ・ 今飲んでいる薬がどこのなのかわからない。
- ・ メリットを説明されたことがないから。
- ・ あまり医療機関にかからないので、薬を使用していない。
- ・ 気にしてなかったから。

アンケート結果について

Q4 ご自身（保護者）が使用する薬について、今回送付したパンフレットやシールをご覧になって、今後、ジェネリック医薬品を使用しようと思われましたか。

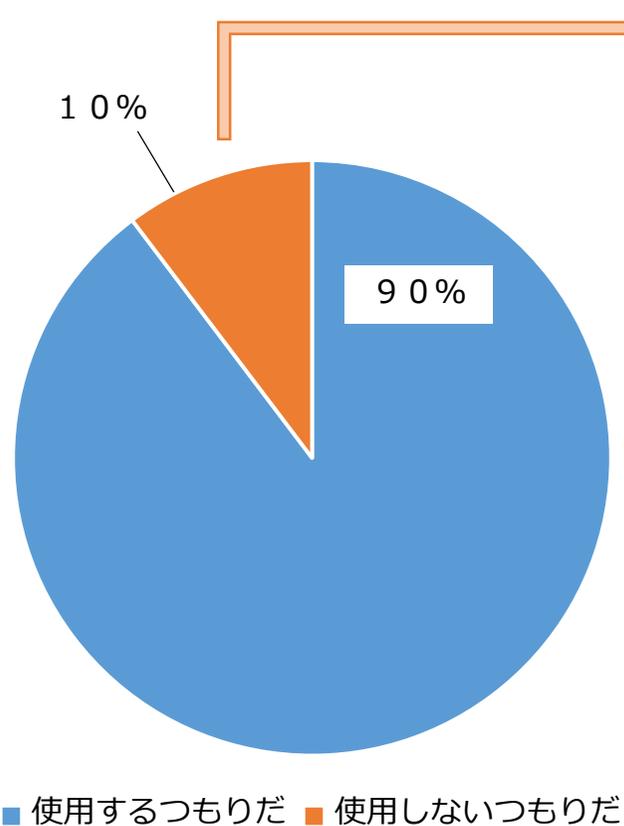


【今後使用する理由（抜粋）】

- ・同じ成分で自己負担が少なくなるから。
- ・ジェネリックでも不都合は無いから。
- ・薬剤師さんが毎回聞いてくれるので、シールがあればわかりやすいと思います。
- ・社会貢献出来るので。
- ・子どもと違って、万一何かあっても大人なので自己責任と思って飲んでいる。
- ・自己負担額が安く済むし、医療費節約になるから。
- ・効能が同じであれば安い方が良いから。
- ・今まで興味がなく、理解していなかった。今回のパンフレットで理解できた。
- ・継続的に薬を服薬しているので負担が安くなるのは助かります。
- ・少しでも節約になればとも思うし、未来の為に貢献できるならば...と思う。次回病院に行った際はジェネリックでお願いできますか？と一言お伝えするようにしたいと思います。
- ・例えて言うならブランドかノーブランドかと言う事以外、差ほど代わりはないだろうと思うので、大人は抵抗なく負担額も減るので使用したいと思います。

アンケート結果について

Q4 ご自身（保護者）が使用する薬について、今回送付したパンフレットやシールをご覧になって、今後、ジェネリック医薬品を使用しようと思われましたか。



【今後使用しない理由（抜粋）】

- ・特に考えが変わることはなかった。
- ・病院で、処方されないから。
- ・変更しても大きなメリットを感じられない。
- ・飲み慣れた先発薬があるから。
- ・信用できない。
- ・その時に応じて処方してもらおうつもり。
- ・処方薬はほとんど飲まないの。
- ・安全性について信頼できない。
- ・医療費を削減して、制度を未来に繋げていきたい気持ちはあるが、医薬品の効果に不安があるため。ただし、医師からジェネリックの使用促進や説明等があれば使用を検討していきたい。
- ・薬剤師さんに勧められたなら、使用すると思います。
- ・ジェネリック医薬品を使用することに抵抗はないが、医師（または薬剤師）の方が自分に合った薬を処方されていると思っている（その中にジェネリック医薬品も含まれる）ので、それをあえて変更するつもりはないから。

1. 高齢者向け啓発資材の作成
2. 子ども及びその保護者への啓発事業
3. レセプト分析

3. レセプト分析について

令和3年度の分析の結果により示唆された課題について

- ・レセプトの分析結果から、病院よりも診療所においてジェネリック医薬品使用割合が低く、かつ医薬品の使用量が多いことが判明した。
- ・薬効分類別の使用割合については、分析に時間を要するため、令和3年度の分析事業では調査結果を出すことはできなかった。

令和4年度の対応について

- ・診療所におけるジェネリック医薬品使用状況の課題について明らかとなったが、供給不安が解消されていないため、いまずぐ幅広いアプローチを行うことは適切でないものとする。
- ・よりターゲットを絞る観点から、薬効分類別の使用割合について令和4年度に分析することとした。